



さわやか

健康
誠実
敬愛

令和7年3月12日 西東京市立田無第二中学校 3月号

$Y=X^2$

校長 矢野 尊久

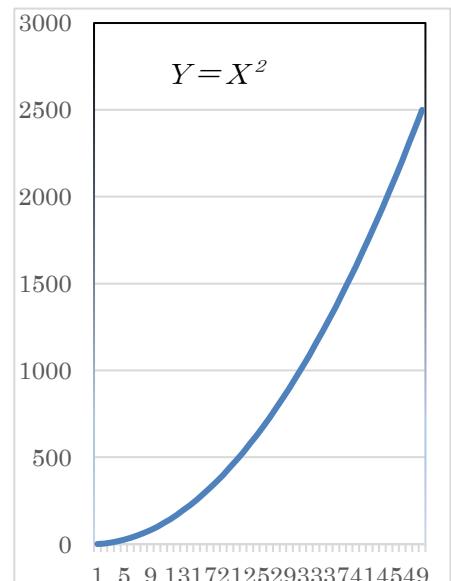
何かに取り組むときに、なかなか成果がない、やってもやっても続かないと思うことがよくあります。勉強でも部活動でも同じで、なかなか成果が出ない、頑張ろうと思ってやっているけれどうまくならないということがあります。逆にすぐに成果の出そうな即効性のある取組みは、どちらかというとその場しのぎだったりします。ある程度続けることが大切といわれている通り、「継続は力なり」なのです。しかし、頭で理解していても、実感が伴わなければ取り組むことが難しいのが本音です。

$Y=X^2$ という3年生で習う数学の関数の式がありますが、この式のグラフ（Xは正の整数）を見てみると、グラフのYの値は、途中から飛躍的に大きくなることがわかります。成果はY、努力はXです。成果は努力の二乗で伸びていくのです。最初は成果が出なくても我慢して少し続けていくと、ある日突然にレベルアップする（した感じになる）のです。つまり成果Yと努力Xは正比例の関係ではないのです。だんだん分かるようになると言いますが、実は、あることがわかると次々に分からなかつたことが分かるようになっていく、できなかつたことができるようになって一気に理解する、上達するのです。目の前の視界が突然開け始め、ブレイクスルーが起き、壁だったものが突然登れるようになっていくのです。病気だった人が病気から回復する時にも同じ傾向が見られますし、あることがきっかけで有名になったりして話題になった場合にSNSやマスコミなどに急に取り上げられ、ブレイクするといった場合も同じようなことが起きます。

本当に努力する人は、成果が出ないけれども、もう少し頑張ってみよう！と粘り強く継続する人です。野球のイチロー選手は「小さなことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道」と格言を残していますが、粘り強く取り組むことこそ一つのことを大成する近道です。

もうひとつ $Y=X^2$ と同じ考え方として、(お金の話で恐縮ですが)金利における「複利」という考え方があります。複利とは元の資金に対して得られた利益を足してさらに再投資することです。利益が順調であれば爆発的にどんどんと増ええていきます。理論物理学者のアインシュタインは、複利を「人類最大の発明」「宇宙で最強の力」と述べています。以前お話ししたことになりますが、毎日1%の努力を1年間したとします。最初の実力を100とすると、1日目は $100 \times 101\%$ で101、2日目は $101 \times 101\%$ で約102……このまま365日間の努力を計算(101%の365乗)すると3778%になります。単純計算ですが38倍もの力になるのです。では、逆に1%ずつサボるとどうなるか。驚くことに1年後には100あった実力はなんと3%以下に！なってしまいます。 $Y=X^2$ 、そして複利という考え方のように、二中生の生徒たちも力が「努力と粘り強さ」で倍にしてさらに倍になっていくことを願っています。

文末になりましたが、令和6年度最後にあたり地域、保護者のみなさま、この1年間の田無第二中学校へのご協力とご理解に深く感謝いたします。紙面をお借りして御礼申し上げます。



学期最後の様々な取組

◇◆3年生・球技大会◆◇3月11日

卒業を控えた3年生は校庭でサッカー、ハンドボールそして体育館ではドッヂボール、バレーボールが男女関係なく実施されました。午前中4時間をおもいっきり楽しんだようです。



◇◆2年生・国際理解教育◆◇3月4日

ヒッポファミリークラブの協力で留学体験をもつ学生などやメンバーの方が来てくれて多言語を通して広く世界を知る取組を行いました。様々なプラクティスやゲーム、トークを通して今まで知らなかった海外に視野を広げてこれからの進路選択や生き方の参考としました。



◇◆二中くつろぎ喫茶◆◇2月28日

地域やPTAの方が実施してくれる放課後の居場所として「二中くつろぎ喫茶」が行われました。調理室で開催され、延べ150人以上の生徒が利用しました。生徒たちのお目当ては当日提供された飲み物や温かいスープなどでしたが、友達と楽しくおしゃべりをしたり、地域の人が持ってきたゲームに興じたり、地域の方ともおしゃべりをしたりして過ごすことで安心感を学校生活に感じることができました。

